

フォスター+パートナーズ展：都市と建築のイノベーション

2016年1月1日(金・祝)ー2月14日(日) 展望台 東京シティビュー内スカイギャラリー 六本木ヒルズ森タワー52階

『建築は軽やかさと自然の光の芸術である』 ノーマン・フォスター卿率いる国際的建築設計組織「フォスター+パートナーズ」日本初の大規模展覧会

建築家ノーマン・フォスターによって1967年に設立されたフォスター^{アンド}パートナーズは、世界45カ国で300のプロジェクトを遂行、日本の国宝建築に相当する英国保護登録建築物最上級グレードIの指定等、輝かしい実績を誇る国際的な建築設計組織です。ガーキン*の愛称でロンドン市民に親しまれている《スイス・リ本社ビル》、東西ドイツ統合の象徴としてベルリン観光のメッカとなった《ドイツ連邦議会新議事堂、ライヒスターク》など、それぞれの都市を訪れたことがある人なら誰もが一度は目にしたことがある現代建築史上の名作を生み出しています。さらに現在、アップル新社屋、月面の砂を素材に3Dプリンターで制作する月面住宅など建築のイノベーションともいえるプロジェクトに次々と取り組んでいます。彼らは一貫して、「伝統と未来」、「人間と環境」といった普遍的なテーマを追求し、革新的なアイデアで建築や都市を創り続けてい

ます。本展は、フォスター+パートナーズを代表するおよそ50のプロジェクトを模型、映像、CG、家具、プロダクト、図面、スケッチなど膨大な資料を通して、その半世紀に及ぶ設計活動を総合的に紹介する日本で初めての展覧会です。

*ピクルスにするキュウリ



《ドイツ連邦議会新議事堂、ライヒスターク》(ドーム内観) 1992-1999年 ベルリン、ドイツ 撮影：Rudi Meisel

ノーマン・フォスター卿からのメッセージ

この度は、私たちのプロジェクトをご覧いただけることを大変うれしく思います。設立以来約50年決して変わることはない私たちの建築思想の一端を、ご紹介いたします。

- ・環境をデザインすることは、私たちの生活の未来を担う社会的貢献である。
- ・太陽光の活用等、最先端技術による自然との共生は、建築と都市の環境負荷を軽減し、最小限のエネルギーで最大限の効果を生む。
- ・イノベーションを追求し、空港や高層ビル、オフィスなどの建築を再定義する。
- ・建築は軽やかさと自然の光の芸術である。
- ・歴史的建造物を現代建築の力で再生し、新たな価値を創る。
- ・人々に開かれた空間を創り出し、都市を活性化する。

これらサステナブル・デザインは現在ますます重視されており、未来を切り拓く力があると考えています。



© Manolo Yllera

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

ノーマン・フォスター Norman Foster, Baron Foster of Thames Bank

1935年、イギリス・マンチェスター生まれ。貧しい労働者階級に育ち、建築家に憧れるが、1951年(16歳)にマンチェスター市役所会計部に勤務。1953年、兵役で空軍に入隊。1956年より、念願の建築家を志し、マンチェスター大学で建築・都市計画を学ぶ。1961年に卒業し、奨学金を得て渡米。イエール大学にて、ポール・ルドルフのもと、修士号を取得。1963年、ロンドンで、イエール大学時代の親友リチャード・ロジャースと4人でチーム4を設立。1967年にフォスター・アソシエイツ(後にフォスター+パートナーズ)を設立。師と仰ぐリチャード・バックミンスター・フラーとは1971年から亡くなる1983年まで協働。1990年、英国女王より騎士爵の称号を与えられ、1999年には、「テムズバンクのフォスター男爵」という一代貴族となる。1999年、建築界のノーベル賞と称されるプリツカー賞受賞。2002年、高松宮殿下記念世界文化賞受賞。初期の名作《ウィリス・フェイバー・デュマス本社ビル》(1975年)は、イギリスの保護登録建築物の最上級で日本の国宝に相当するグレードIに指定されている。2010年には、ドキュメンタリー映画『フォスター卿の建築術』が公開。趣味は、飛行機操縦、自転車、クロスカントリースキーなど。



リバーサイド・アパートメント・スタジオ
英国

開催概要

主催: 森美術館 **後援:** ブリティッシュ・カウンシル

協賛: 株式会社大林組、パナソニック株式会社、トヨタ自動車株式会社、フジテック株式会社、株式会社入江三宅設計事務所、鹿島建設株式会社、株式会社関電工、株式会社建築設備設計研究所、株式会社久米設計、株式会社九電工、美和ロック株式会社、株式会社日本設計、三建設備工業株式会社、三機工業株式会社、東京ガス株式会社、株式会社山下設計、株式会社きんでん、株式会社駒井ハルテック、新菱冷熱工業株式会社

制作協力: 株式会社インターオフィス、千葉工業大学 今村研究室 **協力:** サントリービール株式会社

企画: 森美術館、フォスター+パートナーズ

会期: 2016年1月1日(金・祝) - 2月14日(日)

会場: 六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー内スカイギャラリー(六本木ヒルズ森タワー52階)

開館時間: 10:00-22:00(最終入場: 21:30) * 会期中無休

入館料: 一般 1,800円、学生(高校・大学生) 1,200円、子供(4歳~中学生) 600円、シニア(65歳以上) 1,500円

* 「村上隆の五百羅漢図展」への入場は、別途料金がかかります。

* 「村上隆の五百羅漢図展」チケットでは入場できません(セット券を除く)。

* 屋上 スカイデッキへの入場は、別途料金(500円)がかかります。

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報: 瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

本展のみどころ

伝統と未来

—建築遺産に新たな息吹を吹き込み、未来につなぐ、独自のアプローチとメソッド

東西ドイツ統合の象徴としてベルリン観光のメッカとなった《ドイツ連邦議会新議事堂、ライヒスターク》、大英博物館中庭を現代的な美しいアトリウムへと変貌させた《グレートコート》など、最先端技術を駆使しながら、伝統的建造物の歴史的な背景や地域の環境に配慮し、再生する独自のアプローチとメソッドを紹介します。



《ドイツ連邦議会新議事堂、ライヒスターク》
1992-1999年 ベルリン、ドイツ

戦争で破壊された旧帝国議会議事堂のドームをガラスで再生。議場内にはドームに反射した自然光が降り注ぐ。議場上部空間を展望空間として市民に開放し政治の透明性を表す。展望空間からは、ベルリンの都市が望める。

近未来の都市と建築を予感させる 革新的プロジェクト

サステナブル建築としてのアップル新社屋《アップル・キャンパス2》、月面の砂を素材に3Dプリンターで制作する月面住宅など、近未来の都市と建築を予感させる革新的なプロジェクトを紹介します。



アップル新社屋《アップル・キャンパス2》
2016年竣工予定 カリフォルニア、米国

人間と環境—「宇宙船地球号」で知られるリチャード・バックミンスター・フラーとのコラボレーションにより培われた設計思想

1930年代から地球規模の環境問題の提起と提案を行い、今なお建築家やアーティストに多大な影響を与えている工学者・思想家リチャード・バックミンスター・フラーとフォスター+パートナーズが、1971年からフラーが亡くなる1983年までの12年間協働したプロジェクトなどをフォスター建築の原点として紹介します。



《サミュエル・ベケット劇場》の打合せをするフォスター・アソシエーツのスタッフとリチャード・バックミンスター・フラー
右がノーマン・フォスター 1971年

東京の絶景を望む展示空間で、特別な鑑賞体験

建築模型、映像、CGなど膨大な作品群が、海拔250メートル、展望台 東京シティビュー内スカイギャラリーで展示されます。都市の眺望と融合した空間での、他にはない特別な鑑賞体験となるでしょう。フォスター+パートナーズがデザインした家具やプロダクトを配したラウンジでは、眼下に広がる東京の絶景を望みながら、映像を楽しむ、贅沢な寛ぎのひとつをお過ごしいただけます。



展示会場イメージ

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

展覧会概要

建築家ノーマン・フォスターによって1967年に設立されたフォスター+パートナーズは、世界各地でプロジェクトが進行し、日本の国宝建築に相当する英国保護登録建築物最上級グレードⅠ指定等、輝かしい実績を誇る国際的な建築設計組織です。ガーキンの愛称でロンドン市民に親しまれている《スイス・リ本社ビル》、東西ドイツ統合の象徴としてベルリン観光のメッカとなった《ドイツ連邦議会新議事堂、ライヒスターク》、大英博物館中庭を現代的な美しいアトリウムへと変貌させた《グレートコート》など、それぞれの都市を訪れたことがある人なら誰もが一度は目にしたことがある現代建築史上の名作を生み出しています。さらにいま、アップル新社屋《アップル・キャンパス2》、月面の砂を素材に3Dプリンターで制作する月面住宅など建築のイノベーションともいえるプロジェクトに次々と取り組んでいます。彼らは、それぞれの国や地域の歴史や伝統をいかに未来へと継承するか、また、限りある地球環境における空間とは何かといった普遍的なテーマを追求し、革新的なアイデアで建築や都市を創り続けています。本展は、2009年から北米、南米、アジアなど世界巡回し、好評を博してきた展覧会「Foster + Partners: The Art of Architecture」を森美術館独自の視点で再構成し、フォスター+パートナーズを代表する約50プロジェクトを中心に、模型、映像、写真、図面、スケッチなどの作品資料を通して、半世紀に及ぶ設計活動を総合的に紹介する日本で初めての展覧会です。

また本展では、1930-70年代、エコロジーやサステナブルといった地球規模の問題提起と提案を行い、今なお多くの建築家やアーティストに影響を与えている工学者・思想家リチャード・バックミンスター・フラーと初期フォスター+パートナーズの関係についても焦点を当てています。およそ45年前、事務所を開設したばかりの若きノーマン・フォスターらは、15年以上にわたり、フラーと協働し、多大な影響を受けていました。巨大組織となった現在でも、一貫した思想と姿勢を貫いた建築作品の創造を可能としているのは、ノーマン・フォスターとフラーが紡ぎ出した思想が根底に継承されているからかもしれません。

本展は、六本木ヒルズ展望台 東京シティビューの展示空間、スカイギャラリーで開催されます。模型、映像、家具など膨大な資料群が、東京の絶景パノラマを背景に展示されます。一般的な美術館の展示空間では、体験することのできない特別な展覧会は、フォスターの建築を知るばかりでなく、私たちの建築・都市の未来を想像し、語り合う絶好の機会となるでしょう。



《ウィリス・フェイバー・デュマス本社ビル》
1975年 イブスウィッチ、英国

初期の名作。周囲を映しこむ黒いガラスの外装で旧市街との調和を図った。自然光が降り注ぐアトリウムは、グリーンのカーペットで内部から屋上庭園へと連続している。英国の保護登録建築物の最上級で日本の国宝に相当するグレードⅠに指定されている。



プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum
〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

セクション

■ セクション1

フォスター+パートナーズを支える建築思想

ノーマン・フォスターらは、20世紀を代表する工学者・思想家のリチャード・バックミンスター・フラワーと、活動初期の1971年からフラワーが亡くなる1983年まで協働し、彼の思想に多大な影響を受けました。フラワーは、地球を「宇宙船地球号」と呼び、サステナビリティやエコロジーという概念がない時代に、いま、私たちが直面している地球規模の問題をいち早く指摘し、その解決に示唆を与えました。このセクションでは、フォスターとフラワーの共同プロジェクトとその後のフォスター+パートナーズの原点となる初期の作品を展示します。



《セインズベリー視覚芸術センター》
1978年 ノーウィッチ、英国

現場を訪れたフラワーがノーマンに尋ねた「君は自分の建物の重量を知っているかい?」は、2010年に公開されたノーマン・フォスターの映画の英文タイトルになった(邦題「フォスター卿の建築術」)。

■ セクション2

空間から環境へーフォスター+パートナーズのデザインプロセス

エコロジー、サステナブル、歴史、伝統、地域、国家といった各国が抱える課題に、最先端のデザインと技術で応えてきたフォスター+パートナーズの膨大なプロジェクトを厳選して展示します。検討モデルから完成モデル、映像、写真、スケッチなどを通して、建築が創造されてゆくダイナミズムをデザインプロセスとともに紹介します。



大英博物館《グレートコート》
2000年 ロンドン、英国

大英博物館の中庭を、その中心にある円形図書閲覧室(1857年竣工)を遺しつつ、上部をガラスの屋根で覆い、外光降り注ぐアトリウムとして再生。来館者を博物館の各展示室へと誘導する広大なエントランス空間として機能している。屋根を構成する3,312枚のガラスは一つとして同じ形はない。

■ セクション3

都市と建築のイノベーション 未来のライフスタイルを発想する

フォスター+パートナーズの半世紀にわたる設計活動は、いま、新たな段階へと踏み出しています。ゼロエミッションを目指す巨大建築や都市、月面住宅など一見、空想的なプロジェクトの数々が、実現に向けて研究されています。このセクションでは、最先端技術に裏付けされた近未来の都市と建築の姿を提示します。



《マスタールシティ》
2007年- アブダビ、アラブ首長国
アブダビ郊外に建設中の100%再生エネルギー供給を目指す640ヘクタール(六本木ヒルズの約60倍)の実験都市。

最新のプレス画像は、森美術館ウェブサイトのプレス画像ストックより申請、ダウンロードいただけます。
<https://mam-media.com/jp/press-img>

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum
〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

❓ 展覧会関連パブリックプログラム

■ トークセッション「都市と建築のイノベーション」※日英同時通訳、手話同時通訳付

セインズベリーセンター、香港上海銀行などフォスター+パートナーズの初期の代表作を担当し、現在、デザイン部門の指揮を執るデヴィッド・ネルソン氏、および80年代から「テクノロジーを駆使したサステナブル建築」という視点で、フォスター建築を読み解いてきた難波和彦氏を迎え、都市と建築の未来を語り合います。

出演：デヴィッド・ネルソン(フォスター+パートナーズ デザイン統括シニア・エグゼクティブ・パートナー)、
難波和彦(建築家、東京大学名誉教授)

モデレーター：南條史生(森美術館館長)

日時：2016年1月17日(日)14:00-16:00(開場 13:30)

会場：アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)

定員：300名(要予約)

料金：一般1,000円、MAMCメンバー無料

主催：森美術館

協力：アカデミーヒルズ

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum



デヴィッド・ネルソン
撮影：Nigel Young
Foster + Partners.



難波和彦

■ ギャラリートーク ※日本語のみ

専門家が、展示室内で当館スタッフとの対話を交えながら、それぞれの視点でフォスター展を紹介します。

第1回 「初期から最新プロジェクトまで」

出演：トニー・三木(フォスター+パートナーズ パートナー)

日時：2016年1月16日(土)14:00-15:00

第2回 「フォスターとイギリス現代建築の系譜」

出演：今村創平(建築家、千葉工業大学建築都市環境学科准教授)

日時：2016年1月28日(木)19:00-20:00

第3回 「フォスター建築にみるバックミンスター・フラーの影響」

出演：小見山陽介(建築家)

日時：2016年2月4日(木)19:00-20:00

出演：聞き手：前田尚武(森美術館学芸グループ、本展担当者)

会場：六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー内 スカイギャラリー

定員：15名

料金：無料(要展覧会チケット)

お申し込み：不要(当日先着順、展覧会場入口にお集まりください)



トニー・三木
撮影：Nigel Young
Foster + Partners



今村創平



小見山陽介

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

■ こどもけんちくワークショップ ※日本語のみ

みんなの心にあかりを灯す配送集団「ひかりうんそう」を講師に招き、構造体(こうぞうたい)をテーマにしたワークショップを開催します。日用品のストローとゼムクリップをつかって、基本となる正三角すい「コテトラ(Cotetra)」をつくり、工夫しながら重ねて高い建物を作ります。コテトラ(Cotetra)の「コ(Co)」はコミュニケーション、コラボレーションの「コ」。コテトラから、みんなのアイデアでどんな建物ができるのでしょうか？

講師：ひかりうんそう(デザイナーユニット)

日時：2016年1月24日(日)10:00-12:30

会場：六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー内 スカイギャラリー

対象：小学3年生～小学6年生(お子様だけでおこなうプログラムです。)

定員：15名(要予約/抽選)

料金：500円(材料費)

お申し込み：森美術館ウェブサイト www.mori.art.museum

ひかりうんそうウェブサイト：<http://www.hikariunso.com/>



ひかりうんそう



ひかりうんそう

・出演者は予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

パブリックプログラムに関するお問い合わせ：

森美術館 パブリックプログラム

Tel: 03-6406-6101(月～金:11:00-17:00) Fax: 03-6406-9351 E-mail: ppevent-mam@mori.co.jp

プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、成田

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館